

令和5年度第1回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和5年7月7日
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度1回目となる意見交換会を開催しました。

- 1 日 時 令和5年6月22日（木）14:00～16:00
- 2 開催方法 京都府農林水産技術センター生物資源研究センター
- 3 出席者 消費者団体4団体8名
京都府（農政課、農林水産技術センター生物資源研究センター）4名
- 4 テーマ 京都府の農業における技術開発の取組について

5 概要

(1) 主な説明事項

生物資源研究センターの研究成果について

- ・ 品種開発 黒大豆えだまめ「紫ずきん」シリーズについて
- ・ 防除技術の開発 植物ワクチンの開発について

(2) 主な質疑応答

- Q. 京夏ずきん*を開発した意味は。
- A. 黒大豆のえだまめ「紫ずきん」が好評で、消費者から真夏（8月）にも「紫ずきん」を食べたいという意見があったので、ビジネスチャンスがあると考え開発した。
- Q. 植物ワクチンを接種するのに、獣医師のような資格等は必要なのか。
- A. 資格は必要ない。動物のワクチンのように注射を使って接種するわけではなく、植物ワクチン製剤に同封されている黒い粉を混ぜ、綿棒を使って葉に擦り込んで接種する。

※ 京夏ずきん：真夏に市場流通する黒大豆の枝豆、現在品種登録出願中

(3) アンケート結果

ア アンケート平均点 4.6点（5点満点）

イ 主な意見・感想

市場に流通するまで約10年もかかる「交配」による品種改良に、熱意を持って取り組んでいる様子が伝わってきました。



生物資源研究センターの業務説明



施設・圃場の見学